



落花生

販売開発部 営農振興課
営農指導員 石井 枝里奈

農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural - work technical diary



トウモロコシ

グリーンプラザ
営農指導員 古谷 公一

● **マルチ除去**
収量・品質が低下しないよう、開花

● **マルチ除去**
収量・品質が低下しないよう、開花

● **畑の準備・播種**
落花生は連作障害が出やすい作物な

● **栽培のポイント**(表②参照)
落花生は連作障害が出やすい作物な

● **平成28年産の作柄**
昨年は、さやができる時期(7月下旬

● **アブラムシ**
播種時から生育初期に注意が必要

● **病害虫防除を徹底する**
紋枯病は降雨の後の高温、すず紋病

● **適期収穫を心掛ける**
ゴールドラッシュは、トンネル栽培で

● **アワノメイガ**
雄穂出穂前までの注意が必要です。

● **オオタバコガ**
幼虫が茎や雌穂の中に潜り込み、内

● **中耕・培土(石灰施用)**
開花初期から1〜2回、中耕・培土を

● **灌水**
7月下旬〜8月中旬(結莢〜莢肥大

● **病害虫防除**
そのほか病や褐斑病に注意し、トップ

● **獣害被害**
近年、ハクビシンやアライグマなどに

● **オオタバコガ**
幼虫が茎や雌穂の中に潜り込み、内

● **アワノメイガ**
雄穂出穂前までの注意が必要です。

● **オオタバコガ**
幼虫が茎や雌穂の中に潜り込み、内

● **アワノメイガ**
雄穂出穂前までの注意が必要です。

2月の分析経過について

残留農業分析点数	多成分一斉分析	合計1点
		ホウレンソウ …… 1点
※残留農業分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。		
土壌診断点数 ……		合計15点

表② 落花生の栽培暦

	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
千葉半立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナカテウカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主な作業	基肥 播種			中耕・培土 マルチ除去			収穫			乾燥・調整		

○…播種 □…収穫、乾燥・調整

● **乾燥**
期後95日が収穫目安です。

掘り取り後は、5〜7日間地干しします。その後、風通しの良い場所です野積みし、ブルーシートや稲わら等で覆います。また、平積みへトンネルをかける方法もとられています。十分に乾燥させた後、脱穀・調整してください。

表① トウモロコシの病害虫防除例(トンネルマルチ栽培)

時期	作業	発生病害虫	農薬名	使用基準	特徴	希釈倍数	対象病害虫
3月	マルチ 展張 播種						
4月	トンネル除去		モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	残・浸・速	2000〜4000倍	☆アブラムシ対象防除(出穂前)
5月			アグロスリン乳剤 (もしくはパダン粒剤4)	収穫7日前まで (収穫7日前まで)	接・残 (浸)	1000〜2000倍 (6kg/10a)	☆アワノメイガ+アブラムシ防除 (粒剤は株の上から均一に散布)
			プレバノンフロアブル5	収穫前日まで	残・速・食・接	2000倍	☆アワノメイガ対象防除(雄穂開花終了後)
			プリンスフロアブル リゾレックス水和剤	収穫14日前まで 収穫14日前まで	残・速・食・接	2000倍 1500倍	☆アワノメイガ+オオタバコガ防除 ☆紋枯病防除
6月	収穫		トレボン乳剤	収穫7日前まで	接・残	1000倍	☆アワノメイガ防除
			フェニックス顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで 収穫前日まで	食・残 残・浸・速	2000〜4000倍 2000〜4000倍	☆アワノメイガ・オオタバコガ防除 ☆アブラムシ防除

※特徴欄の略字 残…残効性 浸…浸透移行性 速…速効性 食…食毒 接…接触毒

